

乙 貞

第121号 通巻21巻 第6号
2002年3月31日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
☎・fax 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町2250番地

☆古高・経田遺跡現地説明会速報！！☆

去る3月9日古高・経田遺跡の現地説明会が開催され、多くの方が見学されました。今回はその詳細を特集します。

☆発掘調査だより☆

1. 古高・経田遺跡の調査(第7次調査)

古高・経田遺跡の調査は平成12年12月から始まりました。3月9日(土)には、1年余りの調査状況を見ていただく目的で、現地の説明会を行いました。150名を超える方々に足を運んでいただき、大変ありがとうございました。さて、第2工区の調査は、この3月に約8000㎡の内3000㎡の調査が終了しました。T-1~5では縄文時代から平安時代までの遺物や遺構が見つっています。

T-1からは溝2条と方形周溝墓3基と土こう3基などが見つっています。方形周溝墓1と2は弥生時代中期で3は弥生時代後期のものと考えられます。土こう1は弥生時代後期末~古墳時代初め、4は弥生時代後期。溝1は弥生時代後期~古墳時代前期のものと考えられます。この溝は平成8年度に(財)古代学協会が行った調査で見つっているもの

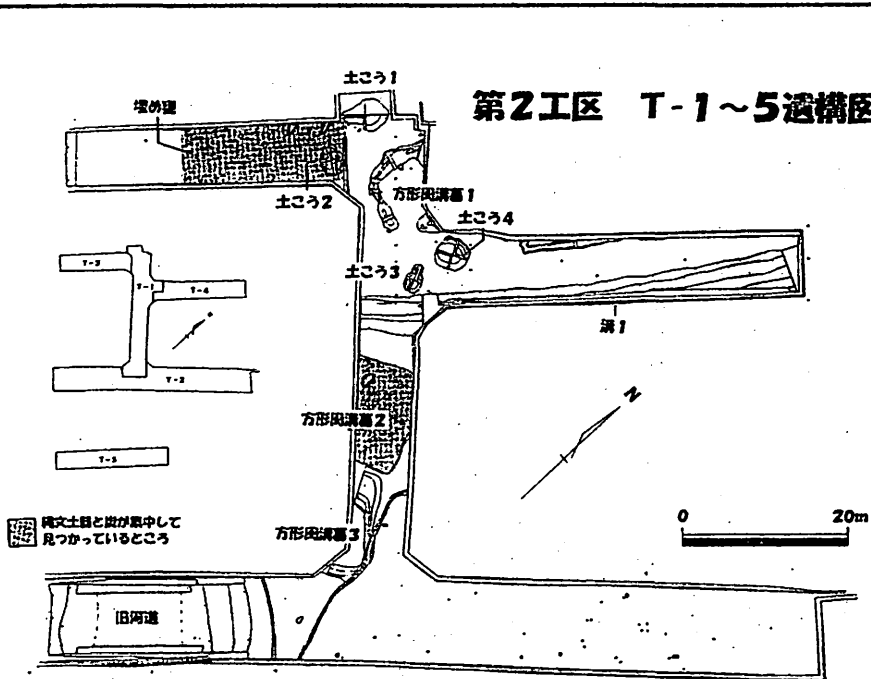
である可能性があり、ムラを巡る溝だったのかも知れません。溝2は時期不明です。T-2からは旧河道が見つっています。幅は約30m、深さは3m以上あります。底の砂礫が混じる層から縄文時代後期の土器

や石器がたくさん見つっています。検出の時に打製石斧が1点見つっています。この旧河道はT-5と2を通して蛇行しながら北西方向へ流れていたようです。T-3の土こう2は時期不明です。また、同調査区の中央部分で発見された埋め甕は縄文時代後期頃のものと考えられます。第1工区でも1基見つっています。T-4の溝3は時期不明です。また、調査地のところどころに炭や縄文土器を含む場所があります。はっきりした遺構はわかりません。こうした

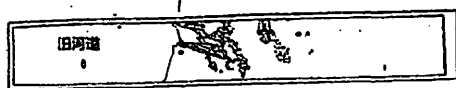
目次

☆発掘調査だより☆	
1.古高・経田遺跡	1p
2.伊勢遺跡	2p
3.金森東遺跡	3p
発掘調査一覧表	4p



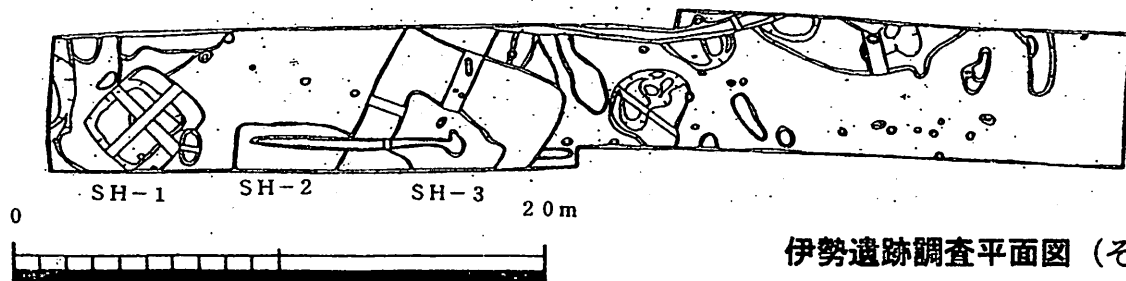


古高・経田遺跡調査平面図



2. 伊勢遺跡の調査 75次

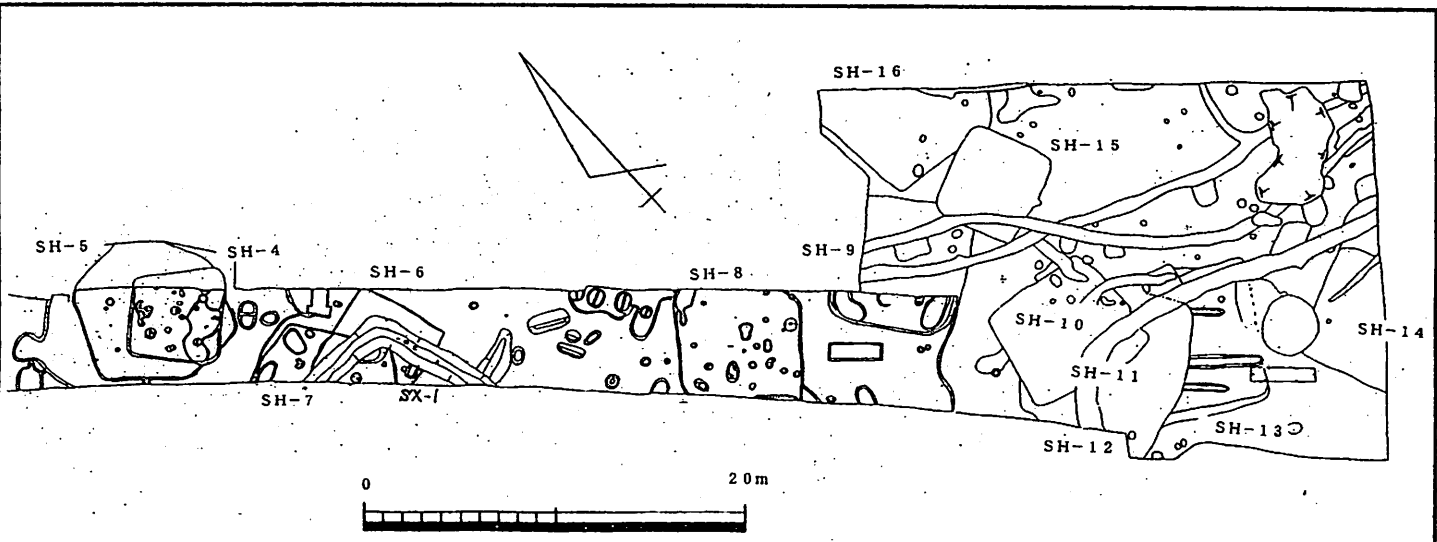
1月上旬から伊勢町地先で、宅地造成工事に先立ち発掘調査を実施しています。調査対象面積は約1000㎡で、道路予定地を中心に調査を行いました。調査の結果、弥生時代後期の竪穴住居16棟、古墳時代初頭の方形周溝墓1基の他、柱穴・土壇多数が検出されました。竪穴住居は方形プランが主流で、一辺4mから8mほどの規模です。多いところで4棟の竪穴住居が重なっていて、比較的長い期間集落が営まれていたことがわかります。このほか、3棟の多角形住居が検出されています。SH-1は長径8mを測る六角形住居で、SH-7およびSH-16は五角形住居と推定されます。SH-7には周溝壁があり、板が壁際に立てられていたと考えられます。竪穴住居を壊して方形周溝墓(SX-1)が造られていて、古墳時代初頭にはこの周辺は墓域に変化していたことがわかります。伊勢遺跡の東半部では大型建物が集中して見つかっていますが、北西部では同時代の竪穴住居が密集して営まれていることがわかりました。伊勢遺跡では、これまで4棟の五角形住居が見つかっていますが、今回の調査で計7棟もの多角形住居が検出されたこととなります。五角形住居の性格などについては不明ですが、多角形住居の多さは伊勢遺跡の特徴といえます。この地域には古墳時代初頭の方形周溝墓が13基以上営まれていることがわかっていますが、弥生時代末に急速に集落が衰退していった様子が見えがえします。(伴野) ※調査平面図・遺構配置図は次ページにも掲載



伊勢遺跡調査平面図 (その1)

ものは第I工区でも見つかっています。他に、磨石、石さじ、石皿、打製石斧、打製石ぞく、石錘などの石器やサヌカイトの大きな塊や剥片などが400点以上見つかりました。さて、7次調査とそれ以前の調査の状況から、この辺りには縄文時代中期と後期のムラがあったと考えられます。そして弥生時代中期には墓が造られ、弥生時代後期には人々がムラを営んでいたようです。その後、弥生時代後期から古墳時代前期に墓が造られ、平安時代の終わり頃には再び人々が住み、生活をしていたと言う事が分りました。

今後は、北に向かって調査を進めいき、今年の後半には第3工区の調査に入っていく予定です。また定期的に説明会なども行う予定です。その際には是非、足を運んでいただきたいと思っています。近くに寄られた際には気軽に声をおかけ下さい。(藤原)

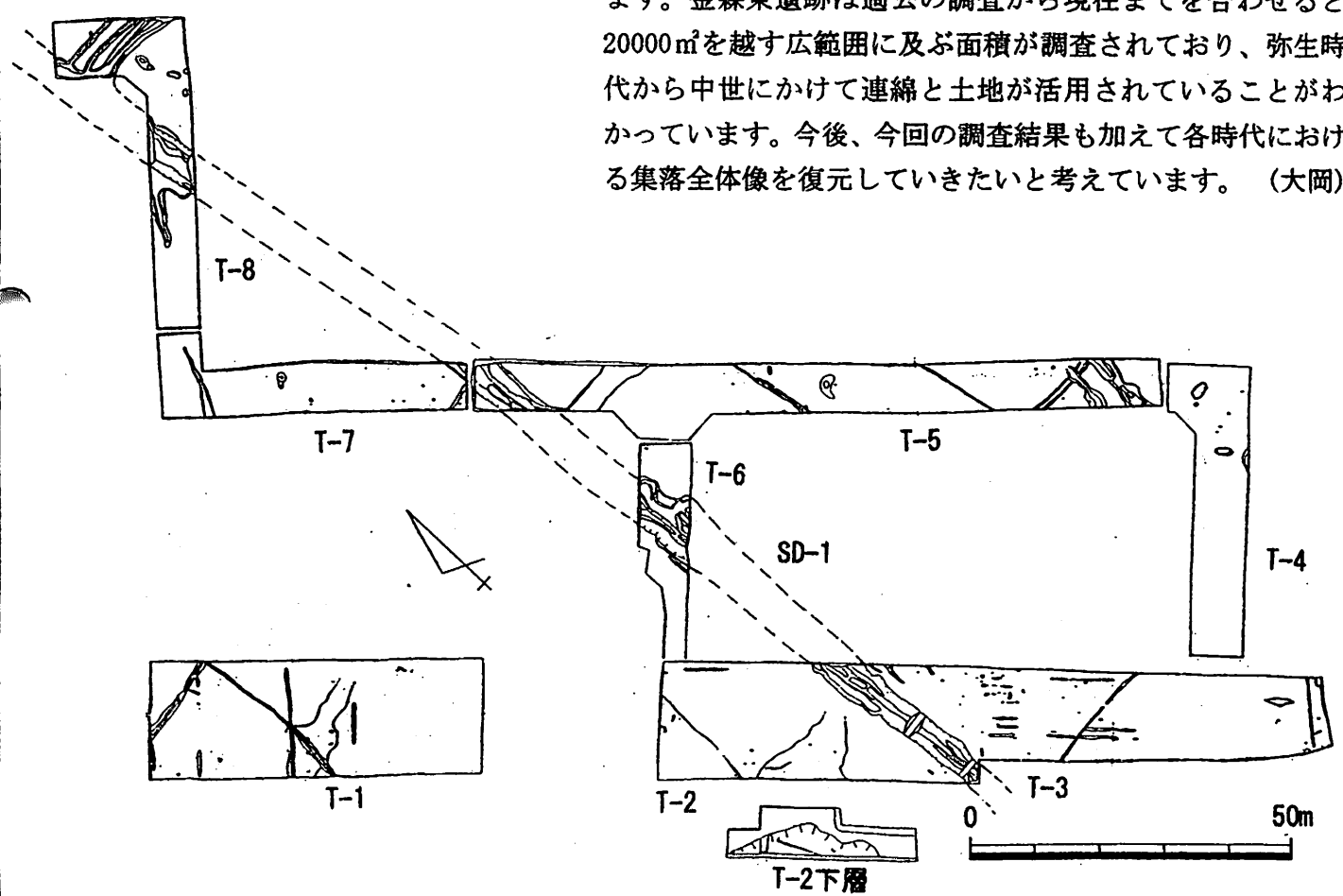


伊勢遺跡調査平面図 (その2)

2. 金森東遺跡の調査 (第30次調査)

10月からは守山高校のグラウンドの南側を調査しました。全体的に遺構が希薄なのですが、ピットや土こうのほか、調査区を横断するように数条の溝が検出されました。なかでもSD-1は最大で幅10mで、深さが遺構検出面から1.2mもある大きな溝でほぼ南北方向にのびています。遺物は少ないのですが、8世紀代の須恵器が出土していることから、この溝は奈良時代頃には埋もれていたようです。奈良時代は全国各地で条里制(古代の土地区画制度)が開始された時期ですが、SD-1はこの地に条里制が施行される以前に掘られたものと考えられます。

金森東遺跡は過去の調査から現在までを合わせると20000㎡を越す広範囲に及ぶ面積が調査されており、弥生時代から中世にかけて連綿と土地が活用されていることがわかっています。今後、今回の調査結果も加えて各時代における集落全体像を復元していきたいと考えています。(大岡)



金森東遺跡調査平面図

平成13年度発掘調査一覧表 (重) =重要遺跡確認調査

	遺跡名	調査地	調査期間	調査面積/開発面積	調査原因	種別	担当	乙貫掘番号
1	石田遺跡	石田町字堂ノ辻240-1 他	1/23~1/24	40/1,912.25㎡	資材置場	本掘	小島	
2	伊勢遺跡	伊勢町字森ヶ下426,427	5/23~7/19	500/2,701.95㎡	宅地造成	本掘	伴野	117
3	伊勢遺跡	伊勢町259	7/2~7/6	250㎡	重要遺跡確認	確認	伴野	
4	伊勢遺跡	伊勢町613,614	8/20~8/29	250㎡	重要遺跡確認	確認	伴野	
5	伊勢遺跡	阿村町166-1,167	9/5~12/21	約800㎡	重要遺跡確認	確認	伴野	120
6	伊勢遺跡	伊勢町字伊勢里315-1,316-1	1/7~3/29	700/2,118㎡	宅地造成(重)	本掘	伴野	121
7	伊勢遺跡	伊勢町字南東浦602-1	2/7~2/8	376㎡	重要遺跡確認	確認	伴野	
8	焰魔堂遺跡	焰魔堂町字作田274-1,275-1	1/28~1/29	200/2,373.83㎡	店舗	本掘	小島	
9	金森東遺跡(第30次)	金森町字大上言629 他	6/1~3/30	8,800/89,098㎡	区画整理	本掘	大岡	117-121
10	金森東遺跡(第31次)	守山三丁目字太田429-1	11/12	24/237㎡	個人住宅	立会	小島	
11	金森東遺跡(第32次)	金森町字五反田 他	12/17~1/15	660㎡	道路改良	本掘	畑本	
12	酒寺遺跡(第50次)	播磨田町字下酒手228-1	4/16~4/27	150/666㎡	店舗	本掘	大岡	116
13	酒寺遺跡(第51次)	播磨田町字平成の里3038-2	4/17~4/20	63㎡	個人住宅	本掘	小島	
14	下之郷遺跡(第46次)	下之郷町字久戸504-1他	5/24~8/20	650/1,976.93㎡	宅地造成(重)	確認	川畑	117,118
15	下之郷遺跡(第47次)	下之郷町字上門田544-1	10/12~12/7	860/951.60㎡	共同住宅(重)	確認	川畑	120
16	下之郷遺跡(第48次)	下之郷町字上門田543-1	11/30~12/28	650/991.00㎡	共同住宅(重)	確認	川畑	120
17	下之郷遺跡(第49次)	下之郷町字久戸507-1,507-4	1/8~1/28	982.47㎡	宅地造成(重)	確認	川畑	
18	下之郷遺跡(第50次)	下之郷町字久戸290	3/26	約20㎡	個人住宅(重)	確認	川畑	
19	正福寺遺跡	下之郷町字シノ184外	3/8~3/11	40/1,212.09㎡	宅地造成	本掘	小島	
20	高関遺跡	二町町字北上代1-1	3/4~3/28	600/2,590.07㎡	宅地造成	本掘	山崎	
21	塚之越遺跡(第16次)	古高町字十町田220,220-5	1/8~1/12	90/354㎡	個人住宅	立会	小島	
22	堂ノ北原遺跡(第4次)	吉身三丁目字門口682,683 外	7/9~8/31	622/2,887.03㎡	宅地造成	本掘	畑本	118
23	二ノ畦横枕遺跡(第46次)	下之郷町字八代126 他	11/13~12/7	200/2,440.52㎡	宅地造成	本掘	畑本	120
24	播磨田東遺跡(第10次)	播磨田町字二ノ坪18-2,19-6	5/9~6/28	558.87㎡	宅地造成	本掘	畑本	117
25	播磨田西遺跡	播磨田町字奥ノ森1148 他	12/4~2/12	1,500/14,520㎡	宅地造成	本掘	山崎	
26	二町鏡遺跡(第13次)	二町町字堂ノ内215-7	4/16~4/27	193.69㎡	個人住宅	本掘	伴野	
27	二町鏡遺跡(第14次)	二町町字堂ノ内215-4	4/16~4/27	186.8㎡	個人住宅	本掘	伴野	
28	二町鏡遺跡(第15次)	二町町字堂ノ内215-5	6/12~6/15	196.03㎡	個人住宅	本掘	小島	117
29	二町鏡遺跡(第16次)	二町町字堂ノ内215-6	6/19~6/22	227.54㎡	個人住宅	本掘	小島	117
30	古高・経田遺跡	今宿町字五丁堰369 他	4/17~3/30	6200㎡	区画整理	本掘	藤原	117-121
31	織遺跡	二町町字南平188-1,190-2,191-	2/6~2/9	118/38,904㎡	共同住宅	本掘	畑本	
32	吉身西遺跡(91次)	守山四丁目字南高田468,1291の一部	4/19~4/23	120/2,215.95㎡	宅地造成	本掘	小島	118
33	吉身西遺跡(92次)	守山四丁目字上岩賀420-5	4/23~4/25	68.73㎡	個人住宅	本掘	川畑	
34	吉身西遺跡(93次)	守山四丁目字南高田485-10	7/31~8/1	165.21㎡	個人住宅	本掘	小島	118

上記一覧表は、平成13年度に実施した民間開発や個人住宅建築などに伴う発掘調査や重要遺跡確認調査の集成表です。この他に工事の際に立会調査を実施したものが32件。また遺跡範囲内における開発(現状変更)について慎重工事を指示したものが188件ありました。

== 編集後記 ==

今年度、一年間を振り返ってみると、「あっという間に過ぎてしまった。バタバタと本当に忙しかった。」と言うのが実感です。しかし、今年度は守山市にとっては、国史跡第1号が誕生したという記念すべき年になりました。来年度からは、国史跡 下之郷遺跡の保存整備構想委員会がたち上げられます。市民に親しまれる遺跡となるように、多くの人からご意見をうかがうことができればと思っています。(k記)